

ありま



令和8年7月17日
学校だより夏休み号
川崎市立有馬小学校

夏休み一日目の朝

学校長 吾妻 典子

本日、夏休み前までの授業が終了しました。ここまでの教育活動にご理解・ご協力いただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございます。

突然ですが、まずは夏休み一日目の朝、どんな朝を迎えさせたいですか？いつも通りか？少しお寝坊さんでもよいのか？子どもの起きてくる時間に合わせるのか？どんな朝を迎えさせましょうか？ちょっとその姿を考えながら、夏休み前の最後の学校だよりにお付き合いください。

どの階からも大きな声での「さようなら」が聞こえ、夏休みに対するワクワク感が感じられる下校時でした。口々からは夏休みの話題が目白押しで、帰りを見送ろうと外に出れば、とびっきりの笑顔と大きな声の挨拶、最後には元気よく手を振ってくれるおまけつき。子どもにとって夏休みは、いつもの休日とはちがう意味をもっているのかもしれません。

なら、『夏休み』というやる気スイッチ爆上がりの特効薬を使わない手はありません。そう仮定すると、まずは今日の夜が大事です！例えば、夕食時に、子どもたちと休みをどう過ごすのか話す絶好のチャンスではありませんか？ワクワク感を活用させていただくのです。

一日の過ごし方やこの休みにやってほしいこと、宿題の計画、お手伝いなど、8：2の割合で、親・子どもの言い分を入れ込んで、計画を立ててみるのはどうでしょう？もちろん割合の比重はそこご家庭ごとお任せします。こちらの要求ばかりでは、子どもたちのやる気スイッチが撃沈してしまいますから。また、子どもたちに話すタイミング・雰囲気も重要です。様子を見ながらの攻防戦となることでしょう。夕食時間なのか？寝る前の時間なのか？無理やりに話合いの土壌に乗せた状態でのやる気スイッチ戦略は、失敗に終わります。これらのことを踏まえて絶好のタイミングを図ってみてください。

本日の朝会で、私からは『8月31日元気に全校で会える過ごし方をする』『やってみたいことに挑戦する』この2つについて話しました。

もしかしたら、保護者の皆様も「元気で過ごしてくれたらそれだけでいい」「やる気スイッチ戦略はいらない」と思われる方もいらっしゃるでしょう。やはり何よりも大事なものは命です。ただ、安全に過ごさせるにはルール（約束）が必要です。携帯、PC、テレビ、ゲーム、外出等々、いつもの学校にはない楽しくなる媒体がたくさんある中、ルール（約束）を決めるその話合いだけでも、子どもたちのやる気スイッチは反応するはずですよ。

さあ！今日がチャンス日。そして、夏休み一日目の朝の姿は…。

よきスタートがきれますように、絶好のタイミングを見計らって、ぜひ親子で話し合ってみてください。8月31日、攻防戦を終えた元気な子どもたちに会えることを楽しみにしています。

夏休み明けからもよろしくお願いいたします。

